

※要注意

大麻の乱用が拡大しています!!



薬物乱用は

ダメ。



埼玉県マスコット「コバトン&さいたまっち」



ゼツタイ。

● 大麻は…

THC(テトラヒドロカンナビノール)という有害な幻覚成分を含み、乱用により、身体に様々な不具合を引き起こします。

営利目的ではない場合でも
厳しい罰則があります!!

- 所持、譲り受け、または譲り渡した場合
5年以下の懲役
- 輸入、輸出、栽培した場合
7年以下の懲役



クサ、野菜、ハッパ、チョコ、マリファナ等
隠語や俗称で取引されています。

● 新しいタイプの大麻に注意!

最近では、大麻から有害な幻覚成分を抽出・濃縮させた「大麻リキッド」や「大麻ワックス」など新しい大麻加工品の摘発が相次いでおり、若い世代を中心に大麻乱用の拡大が懸念されています。

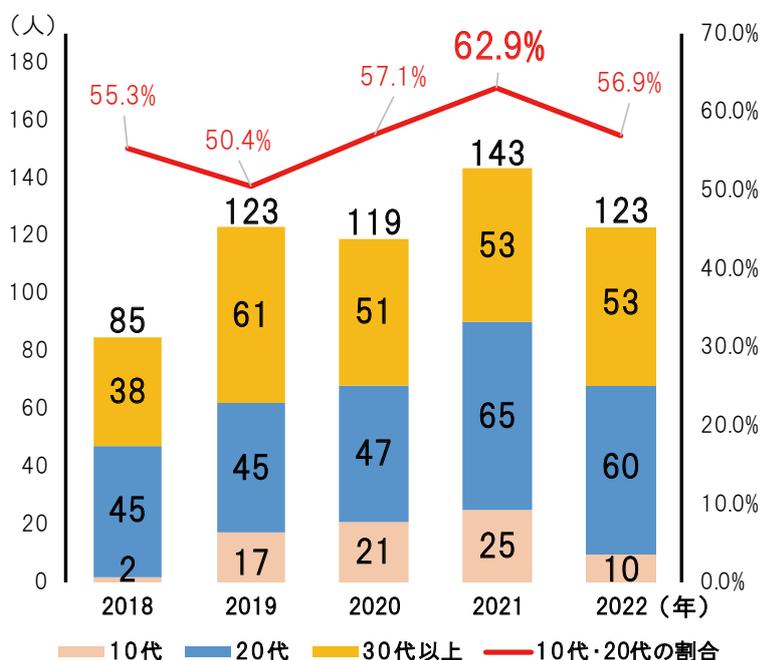


他にも、大麻成分を含んだチョコレートやクッキーなどにより救急搬送される事例も報告されており、注意が必要です。

画像提供:厚生労働省

● 埼玉県でも大麻事犯検挙者数が増加!

10代・20代の若者の検挙者が増加!
大麻事犯検挙者数の半分以上を占めています!



● 大麻の有害性！

大麻の有害性は、特に成長期にある若者の脳に対して影響が大きいことが判明しています。

大麻の乱用による影響

知覚の変化

時間や空間の
感覚がゆがむ

学習能力の低下

短期記憶が
妨げられる

運動失調

瞬時の反応が
遅れる

大麻を長く使い続ける影響

精神障害

統合失調症やうつ病を
発症しやすくなる

IQ(知能指数)の低下

短期・長期記憶や
情報処理速度が下がる

薬物依存

大麻への欲求が
抑えられなくなる

厚生労働省 薬物乱用防止読本より

● インターネット等での誤った情報に注意！

「大麻は身体への悪影響がない」
「依存性がない」



大麻の有害性は特に成長期にある若者の脳に対して影響が大きいことも判明しています。
間違った情報に流されず、正しい知識で正しく判断しましょう。

● 薬物の誘いは身近なところから！ハッキリキッパリ断ろう！

20代の約4人に1人、10代の約6人に1人が何れかの薬物が入手可能と回答しています。

※「令和元年度厚生労働行政推進調査事業薬物使用に関する全国住民調査(2019年)」より

簡単に
痩せられるの

1回くらい
ヘーキヘーキ

最高の気分
になれるぜ！

ノリ悪いな
友達だろ？



惑わされそう
になっても…

そういうの
いやトン！

1回でも
乱用トン！

ハッキリ！キッパリ！
(誘っても無駄と思わせる)



そういえば…

話題を変える！

今日用事
あるトン

その場を離れる！
(逃げる勇気も大切)

大切な自分を守るために、流されず、勇気を持って断りましょう。



薬物乱用防止
啓発サイト

薬物のことで困ったり、悩んだら
お気軽に相談してください。



◆ 埼玉県保健医療部薬務課

☎048-830-3633 ✉a3620-02@pref.saitama.lg.jp

◆ ホワイトレホン

(公益財団法人 埼玉県暴力追放・薬物乱用防止センター)

☎048-822-4970

◆ 埼玉県立精神保健福祉センター

☎048-723-3333 (代表)